

2014年9月27日(土)

<Press Release>

耐震構法
SE構法

<http://www.ncn-se.co.jp/>

「耐震住宅100%」始動

～民間企業が連携し

2020年東京オリンピックまでに耐震国家を目指す～

株式会社エヌ・シー・エヌ

本社：東京都港区港南1-7-18

DBC品川東急ビル

代表取締役社長：田鎖郁男

資本金：1億円



木に金属、という安心

耐震構法
SE構法

<http://www.se-structure.com/>

2014年9月27日(土)

<Press Release>

耐震構法
SE構法

<http://www.ncn-se.co.jp/>

全国のSE構法登録施工店(独立系住宅ビルダーと工務店)を通じて、全棟構造計算書付きのSE構法を供給している株式会社エヌ・シー・エヌ(以下NCN、URL:<http://www.ncn-se.co.jp/>)は2014年9月22日(月)、全国の協賛企業と共に決起集会を開催し、「耐震住宅100%」実行委員長である田鎖郁男(NCN代表取締役社長)はこの活動を「2020年まで6年間継続する」と発表致しました。



左から桐ヶ谷覚氏(㈱キリガヤ代表取締役社長)、田鎖郁男、金谷年展氏、三浦雄一郎氏、播茂氏(構造家)、笹川晋也氏(㈱ATM建築代表取締役)

決起集会当日は、協賛工務店204社中130社の協賛者とメディアの計147名が参加し、そのほかにもゲストとして国土交通副大臣兼復興副大臣・衆議院議員の西村あきひろ氏、初代耐震大使の三浦雄一郎氏、レジリエンスジャパン推進協議会(※1)事務局長の金谷年展氏等が、応援に駆けつけてくださいました。

初代耐震大使の三浦雄一郎氏による特別講演では、怪我を乗り越えて80歳で3度目のエベレスト登頂を果たし、今なお挑戦し続けるご自身の経験から、「人生において挑戦するということ」について貴重なメッセージを頂きました。また金谷年展氏による特別講演では、「レジリエンスジャパンとしての住宅とは」というテーマで、「ここにいる皆様と耐震住宅100%を達成するために力を尽くしたい」とレジリエンスジャパンへの意気込みを語り、参加者を活気づけました。さらに初代国土強靱化担当大臣の古屋圭司衆議院議員と、内閣官房参与としてレジリエンスジャパンを推進している京都大学教授、藤井聡先生からもVTRにて応援のメッセージを頂き、「国土強靱化基本計画」(※2)にて耐

木に金属、という安心

耐震構法
SE構法

<http://www.se-structure.com/>

2014年9月27日(土)

<Press Release>

耐震構法
SE構法

<http://www.ncn-se.co.jp/>

震住宅を95%にするという目標が掲げられたことを受けて、我々住宅業界は100%を目指そうという決意のもと、参加者が決起致しました。

閉会の挨拶にて実行委員長：田鎖郁男は、「耐震住宅100%」の活動を、35代アメリカ合衆国大統領であるジョン・F・ケネディの言葉を引用して、「国家があなたの為に何をしてくれるかではなく、あなたが国家のために何ができるかを問おうではないか」と表現し、「日本を耐震国家にして東京オリンピックを迎えましょう」と意気込み「耐震住宅100%」活動は力強く始動致しました。

さらに田鎖は今後2014年10月1日より放送する新CMの発表と、「あなたの残したい建物コンテスト」のノミネート8物件の発表を併せて行いました。コンテストはFacebookにて2014年10月から2015年3月まで投票期間を設け、多くの投票と、活動に対しての「いいね」を獲得し、全国に啓蒙活動していく予定です。(※3)新CM発表の詳細につきましては後日配信するプレスリリースをご覧ください。

【注釈】

※1 レジリエンスジャパン推進協議会 公式サイト <http://www.resilience-jp.org/>

※2 安倍政権がかかげる、強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する計画であり、この国土強靱化基本計画の中で「250万戸以上ある旧耐震住宅(1981年以前の)建物をなくし、2020年までに耐震住宅を95%にする」という目標をかかげました。

※3 <http://www.taishin100.com/contest2014/>

木に金属、という安心

耐震構法
SE構法

<http://www.se-structure.com/>

<Press Release>

耐震構法
SE構法

<http://www.ncn-se.co.jp/>

■ゲストプロフィール

西村あきひろ

(第46回衆議院議員選挙で自民党から宮城3区に出馬し、3選。国土交通副大臣兼復興副大臣)



【衆議院】

国土交通委員会 理事

東日本大震災復興特別委員会 筆頭理事

【自由民主党】

総務会 総務

総合交通政策に関する特命委員会 委員長

国土交通部会 顧問

国際局 次長

組織運動本部団体総局 次長

農林水産業・地域の活力創造本部 副本部長

道州制推進本部 事務局長

観光立国調査会 副会長

文化伝統調査会 事務局長(4期)

ITS推進・道路調査会 事務局次長

航空政策特別委員会 副委員長

国土強靱化総合調査会 常任幹事

外交・経済連携本部 幹事

中小企業・小規模事業者政策調査会 幹事

住宅土地・都市政策調査会 幹事

都市公園緑地対策特別委員会 幹事

ITS推進・道路調査会

無電柱化小委員会 副委員長 他

【議員連盟】

日本・キューバ友好議員連盟 事務局長

空き家対策推進議員連盟 事務局長

朝鮮通信使交流議員の会 事務局長

日本・アフリカ連合友好議員連盟 幹事 他

【団体等】

日本調理師連合会 名誉会長

日本・ロシア協会 副会長

日韓親善協会中央会 常任理事

全国国宝重要文化財所有者連盟 顧問

東北福祉大学 教授 他

木に金属、という安心

耐震構法
SE構法

<http://www.se-structure.com/>

2014年9月27日(土)

<Press Release>

耐震構法
SE構法

<http://www.ncn-se.co.jp/>

(西村あきひろオフィシャルサイトのプロフィールより抜粋)

金谷年展



- ・国土強靱化担当大臣私的諮問委員会『ナショナル・レジリエンス懇談会』委員
- ・内閣府『国連防災世界会議準備会合』委員
- ・内閣府『戦略的イノベーションプログラム評価委員会』委員
- ・経済産業省資源エネルギー庁『再生可能エネルギー等の普及啓発事業・企画委員会』委員
- ・環境省『家庭エコ診断推進基盤整備事業検討委員会WG』委員長
- ・内閣府『カーボンマネジャーキャリア段位制度運営委員会』委員長
- ・環境省『家庭エコ診断制度審査委員会』委員長
- ・『カーボンマネジャー普及啓発アドバイザーボード』座長
- ・経済産業省資源エネルギー庁『再エネ事業者及び利用者サイドにおける人材育成等の利用促進に係る基盤整備事業』実施事業者選定評価委員
- ・実践キャリア・アップ戦略カーボンマネジャーキャリア段位制度 第2回普及啓発アドバイザーボード委員長

- ・南伊勢町バイオマス発電事業調査委員会委員長
- ・天然ガス自動車アカデミー発起人

また、2014年7月、『一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会』の設立に伴い、同協議会の事務局長に就任。

主な著書に『メルセデス・ベンツに乗るとのこと』『マイクロパワー革命』『世界を変える、クールソリューション』など。日本テレビ系『世界一受けたい授業』などTV出演も多数。一方、地域資源活用型ビジネス及びブランディング・PRコンサルティングの会社を傘下に持つ『(株)次世代戦略総研』(年商約42億円)を創業し、代表取締役も務める。

『メルセデス・ベンツ』や『大間のマグロ』などのブランド化をはじめ、世論を動かした数多くの商品やヒットブランドづくりに貢献した。加えて『北海道市場』『テラスL』など全国14店舗の地産地消の飲食店の創業オーナーでもある。

(金谷年展オフィシャルサイトのプロフィールより抜粋)

木に金属、という安心

耐震構法
SE構法

<http://www.se-structure.com/>

<Press Release>

耐震構法
SE構法

<http://www.ncn-se.co.jp/>

三浦雄一郎

(プロスキーヤー、クラーク記念国際高等学校校長)



(株)ミウラ・ドルフィンズ 代表取締役

(株)三浦雄一郎事務所 代表取締役

クラーク記念国際高等学校校長

(社)全国森林レクリエーション協会会長

NPO法人グローバル・スポーツアライアンス理事長、元運輸省策道規則等検討会委員

本総理府青少年問題審議会委員、他

1932年10月12日青森市に生まれる。

1964年イタリア・キロメートルランに日本人として初めて参加、

時速172.084キロの当時の世界記録樹立。

1966年富士山直滑降。

1970年エベレスト・サウスコル8000m世界最高地点スキー滑降(ギネス認定)を成し遂げ、

その記録映画「THE MAN WHO SKIED DOWN EVEREST」はアカデミー賞を受賞。

1985年世界七大陸最高峰のスキー滑降を完全達成。

2003年次男(豪太)とともにエベレスト登頂、当時の世界最高年齢登頂記録(70歳7ヶ月)樹立。2008年、75歳2度目

2013年80歳にて3度目のエベレスト登頂(世界最高年齢登頂記録更新)を果たす。記録映画、写真集、著書多数

■SE構法について

SE構法とは、コンピュータ制御による高精度プレカットによって作られた集成材を軸組部分に採用し、接合部にNCN独自開発によるSE金物を使用することによって、圧倒的な構造強度を実現、大空間や大開口を可能にした住宅構法で、国土交通大臣の一般認定を取得しています。また、CADと連動した立体応力解析を物件ごとに行うことで、「勘」に頼らない、具体的な構造計算のデータを基にした安全性を確保できるため、真に安心して建てることのできる住宅として注目されています。施工する工務店も、NCNが開催する講習を受け試験に合格し登録施工店の資格を取得する必要があります。現在523社(2014年3月末現在)が「SE構法登録施工店」として活躍しています。2013年10月には、CIロゴを「耐震構法SE構法」に一新し、創業以来、全棟構造計算・全棟性能保証を実施し、延15,748棟(2014年3月末実績)の構造計算を行ってまいりました。

※本文中記載の社名、及び商品名は各社の商標または登録商標です。

木に金属、という安心

耐震構法
SE構法

<http://www.se-structure.com/>

2014年9月27日(土)

<Press Release>

耐震構法
SE構法

<http://www.ncn-se.co.jp/>

■会社概要

- 【社名】 株式会社エヌ・シー・エヌ
【設立】 1996年12月11日
【資本金】 1億円
【従業員数】 66名(構造設計一級建築士3名、一級建築士20名、二級建築士13名)
【事業内容】 ・木造システムの提供—SE構法
・建築ネットワーク事業
・建築関連サポート
【免許登録】 一級建築事務所登録 東京都知事登録 第53799号
建築業登録 国土交通大臣許可(特-22)第23620
【関連会社】 SE住宅ローンサービス株式会社
株式会社エヌ・ディ・エヌ
株式会社 MUJI HOUSE (無印良品の家)

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社エヌ・シー・エヌ
総合企画室 松延(マツノベ)・佐塚(サツカ)まで
電話 03-6872-5637、FAX03-6872-5725
Mail : info@ncn-se.co.jp

木に金属、という安心

耐震構法
SE構法

<http://www.se-structure.com/>